

# 新型コロナウイルス感染症対策に係るNPO等支援のための緊急アンケート 集計結果

令和2年4月10日  
(公財) ふるさと島根定住財団  
地域活動支援課

## 1. 目的

新型コロナウイルス感染症の流行による NPO 法人及び地域づくり団体等への影響を可視化し、発信することを通して、お互いの不安や工夫を共有し、今後必要な対策を検討するための緊急アンケート(全6問)を実施しました。県内 NPO 等の組織運営や事業活動、感染症対策に関する課題やご意見を伺いました。

## 2. 調査期間

令和2年4月2日(木)～4月10日(金)

## 3. 調査対象

島根県内の NPO 法人や地域づくり団体など、地域の課題解決に取り組む組織(法人格の有無や種類は問いません)

## 4. 回収方法

Google フォーム または FAX

\*地域活動応援サイト「フレフレしまね」及び県民活動応援サイト「島根いきいき広場」に掲載するとともに、調査対象団体に Google フォームのリンクを添付したメールをした。

## 5. 集計結果の公開

この集計結果は地域活動応援サイト「フレフレしまね」及び県民活動応援サイト「島根いきいき広場」に掲載するとともに、島根県環境生活部環境生活総務課 NPO 活動推進室にも共有しています。

## 6. お問い合わせ

公益財団法人ふるさと島根定住財団・地域活動支援課(しまね県民活動支援センター)

担当: 森山・加納

TEL: 0852-28-0690 E-Mail: chiiki@teiju.or.jp

## 7. 調査結果

◆問1. 団体名(法人格を含む正式名)を教えてください。(団体名は情報公開しません)

- ・回答数 76団体(すべてNPO法人)
- ・ただし、団体名は情報公開しません

◆問2. このアンケートに回答されている方の氏名を教えてください。(氏名は情報公開しません)

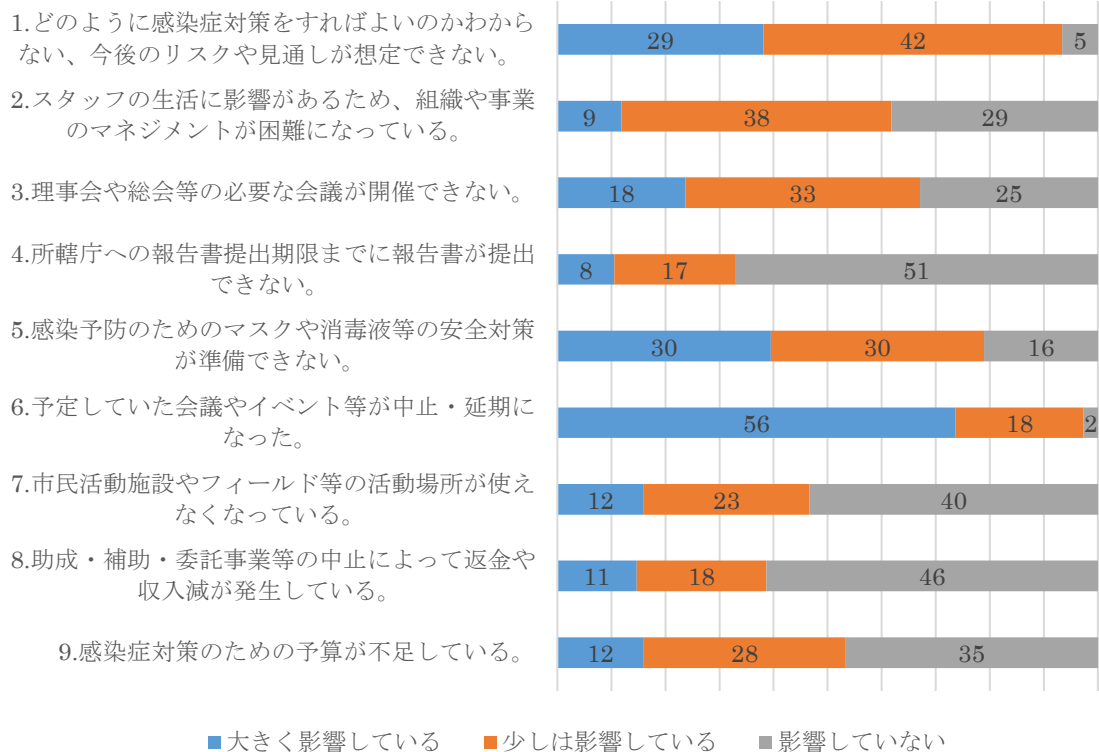
- ・氏名は情報公開しません

◆問3. 組織運営や事業活動にどのような影響がありますか？（複数回答可）

	大きく影響している	少しは影響している	影響していない
1.どのように感染症対策をすればよいのかわからない、今後のリスクや見通しが想定できない。	29	42	5
2.スタッフの生活に影響があるため、組織や事業のマネジメントが困難になっている。	9	38	29
3.理事会や総会等の必要な会議が開催できない。	18	33	25
4.所轄庁への報告書提出期限までに報告書が提出できない。	8	17	51
5.感染予防のためのマスクや消毒液等の安全対策が準備できない。	30	30	16
6.予定していた会議やイベント等が中止・延期になった。	56	18	2
7.市民活動施設やフィールド等の活動場所が使えなくなっている。	12	23	40
8.助成・補助・委託事業等の中止によって返金や収入減が発生している。	11	18	46
9.感染症対策のための予算が不足している。	12	28	35

問3. 組織運営や事業活動への影響

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



(問3) その他、影響していることがあれば教えてください。(自由記述)

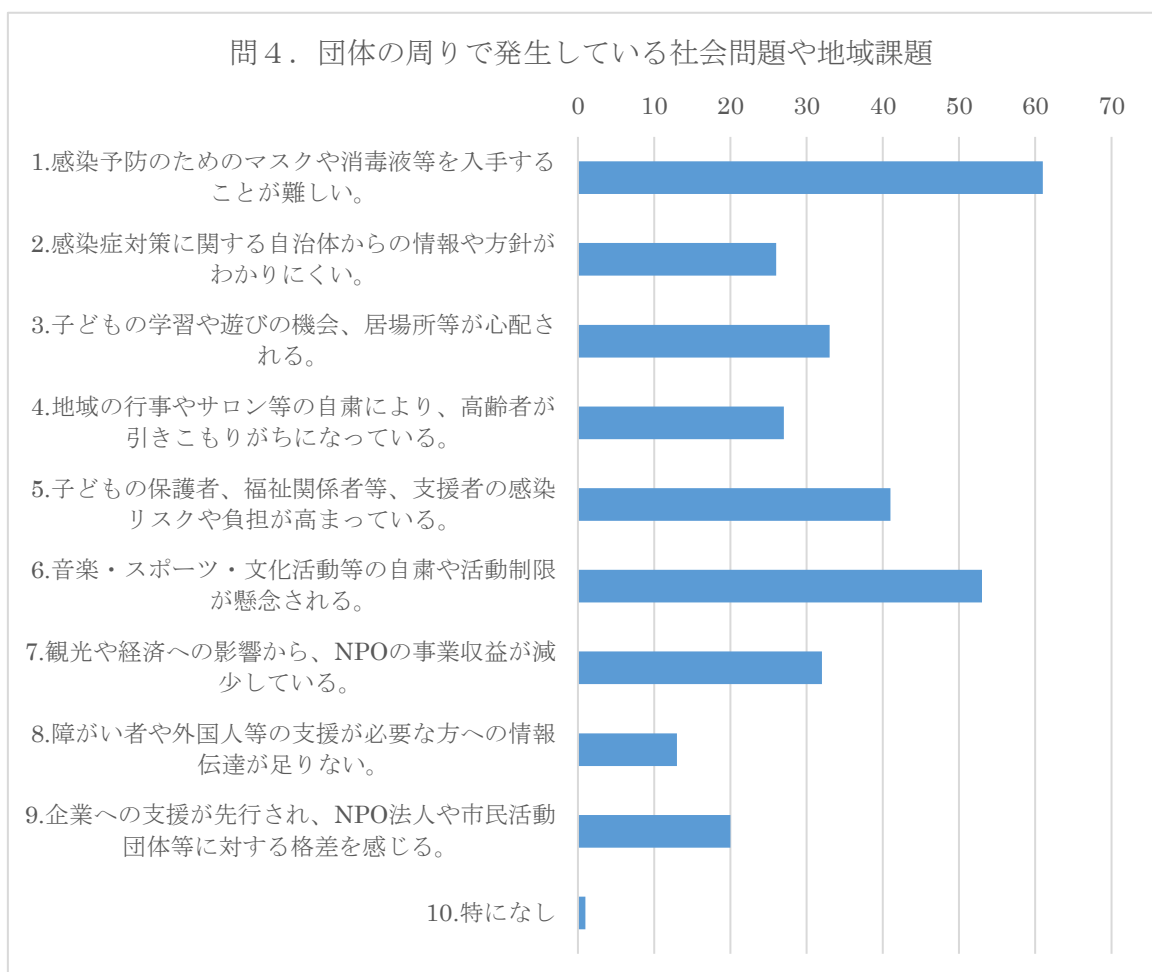
<ul style="list-style-type: none"><li>・当 NPO では感染予防対策をシッカリしている (マスクの確保、消毒液の購入、運営上の配慮) のですが、子どもの保護者によっては感染予防の点から参加を控える傾向があります。</li><li>・当然参加費 (月謝) の徴収にも支障が生じております。特に今回のウィルス問題で雇止めにあった保護者もあり、この家庭からは参加費を徴収するのは困難で、事業予算の収入が減って赤字になってしまう状況です。</li><li>・また指導者も基本的に生業をもって指導して頂いていますが、その生業の仕事量の減少による収入の減少があり、なおかつ当 NPO の事業で中止になった事業について謝金も支払うことが出来ません。指導者が生活するための収入が減少すれば当 NPO の事業継続に大きな影響が出ます。</li><li>・また今回マスクの調達や消毒液の入手に多くの時間とガソリン代を NPO の関係者が負担しております。助成をうけた助成先に問い合わせても消毒液の費用はともかく、マスク・ゴム手袋の調達費用などは経費として認められないという返事が返ってきています。</li><li>・また 3 月下旬に予定していた事業も県の施設の利用停止によって実施できなくなりましたが、すでに配布したチラシの代金や準備にかけたスタッフの作業の人件費も回収できないようになるのではないかと心配しております。</li><li>・講師や指導者はこの日に合わせて仕事を休んでおりますが、この方々への謝金が支払われないとすると収入減となってしまいます。謝金は本来の仕事の日当換算金額よりはるかに安い金額でお願いしておりますが、感染が拡大するとわずかな謝金では今後事業に協力する人が少なくなると予想されます。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・今後の計画が立案できない。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・高齢者ばかりの小さな集落で活動しているので、施設にお客さまを呼ぶ行為自体が危険を伴うように感じ、オープンを延期しています。</li><li>・理事会や総会は今後考えていきます。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・感染防止対策が十分に取れない (不足しているアルコールにかわる次亜塩素による消毒などができない) ため、やむを得ず全施設閉館としている。(閉館期間をゴールデンウィークまでとしているが営業再開できるのか不安。また、営業再開の判断基準に困る)</li><li>・今年度の講座・イベントについて、年間スケジュールの変更(延期・中止など)に伴う、事務作業が増大。(受講料金の返金手続き、関係各所への連絡など)</li><li>・監事が東京の方で、来館が憚られるため、監査の方法を検討中</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・県外への現地調査などに人員を派遣することに懸念がある</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・地域医療を行う現場であるが、そうでないところとの意識の差や感染対策の差がある。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・2020 年度の助成金は不採択。家賃・光熱通信費の支払いもままならず、人件費もなし。施設の営業、イベント等の開催も困難です。とりあえず、クラウドファンディングをやってみるつもりですが、積み重なる負債を考えると眠れないです。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・収束時期が見えず、地域で実施しているイベントの開催判断、見通しが立たない。</li><li>・創作体験等は比較的近距離でのコミュニケーションとなり、自粛すべきかどうか判断が難しい。市当局からの指示等はない。</li><li>・県外客、インバウンド客も見られ、スタッフの安全確保も懸念される。</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>・まちづくりの中間支援組織という業務の性格上、大きな影響は直接的にはない。</li><li>・しかし、地域側ではイベント中止、延期、集まりの延期などは生じており、物販イベント</li></ul>

<p>や集客イベントも今後影響が考えられるため、地域における事業の継続性を検討する上では検討しなければならないと考える。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客の減少で主力商品の売上げが落ち、減収している</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者の生産活動（販売）に大きく影響しているため、工賃が下がる可能性が大きい。今後、ウイルス感染者が拡散していくと施設利用者へのサービス休業もやむを得ない状況となると、事業そのものの継続が危ぶまれ、障害者への影響が一番の心配である。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・発達障がいの方のレクリエーションを行う際にボランティアが必要となってくるが、コロナにより依頼していた学生ボランティアの中止などが発生したため、全職員で対応しないとイケないが、通常が大変なスタッフ不足の為、休日出勤になっても振替も取れない状況になっている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室の開催が中止となったり、ジムの参加者が減るなどにより、予定した参加料収入が減っている。今後の状況によっては年度末時点で、収入が激減してしまうのではないかと不安がある。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画・予算計画が立て辛い。寄付金が集めにくい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・寄付で運営をしているので今後どうなるかが不安。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント、教室ができないので、収入が減っていて支払いがまわらないで困っている</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲストハウスのインバウンド客が散々なことになっている</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染広がり予測ができないので、事業計画を立てにくい。マスク、消毒液が手に入りにくいので予防対策に不安がある</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスで活動中止となり、収入が途絶えたらどうなるのか心配しています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度事業の見通しがつなかないため、個人、企業からの寄付が減少すると予想される。収入減による今後の活動に大きく影響する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の予定や予算が立てられないため、事務局や役員の本業を NPO 活動の調整が難しく、事業を削減すると収入が減るため、活動・収入減の悪循環に陥っています。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・どこも同じ状況ですから、仕方のないことですが、見通しがつかないことに困っています。事業予定が全く立ちません。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段から使用している備品購入が困難。商品の仕入れ難による経営難</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・マスク、アルコール類など買いたくても買えない（お金があっても物が無い）。市の委託はそのままだが作業所は大きく収入減になっている（利用者工賃の収入減）。</li> <li>・職員は日々不安で一体何をすればいいのかと訴えている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・マスクや消毒液のストックがなくなりつつあります。感染症の終息まで待てない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託事業の先行きが不透明</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺地域への入込客の減少により食品の販売量、販売額が減少している</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政との連携が必要な新しい事業ができなくなった。終息後に速やかに対応できるよう、再度よく練ってみるつもり。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月総会開催時の流行状況を懸念している</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・総会は70-80人近く集まるので実施できず。書面による決議を現在実施中。研修会等で受講者が多く集まる場合は、人数等の状況をみて一人一人の間隔をあげ、窓を開けたまま実施する等の処置を講じる。</li> </ul>

・助成金の採択を受けて事業を行ってきたが、2月からの予定が全てコロナで自粛・中止しているので、実働できておらず、今後も活動の見通しがつかず、今後、どうしたらよいのか等、困っている。NPO 本体の収益部門のデイ営業中も、もしも営業停止になったら、法人の存続が危うくなり、先行き不安な状態です。

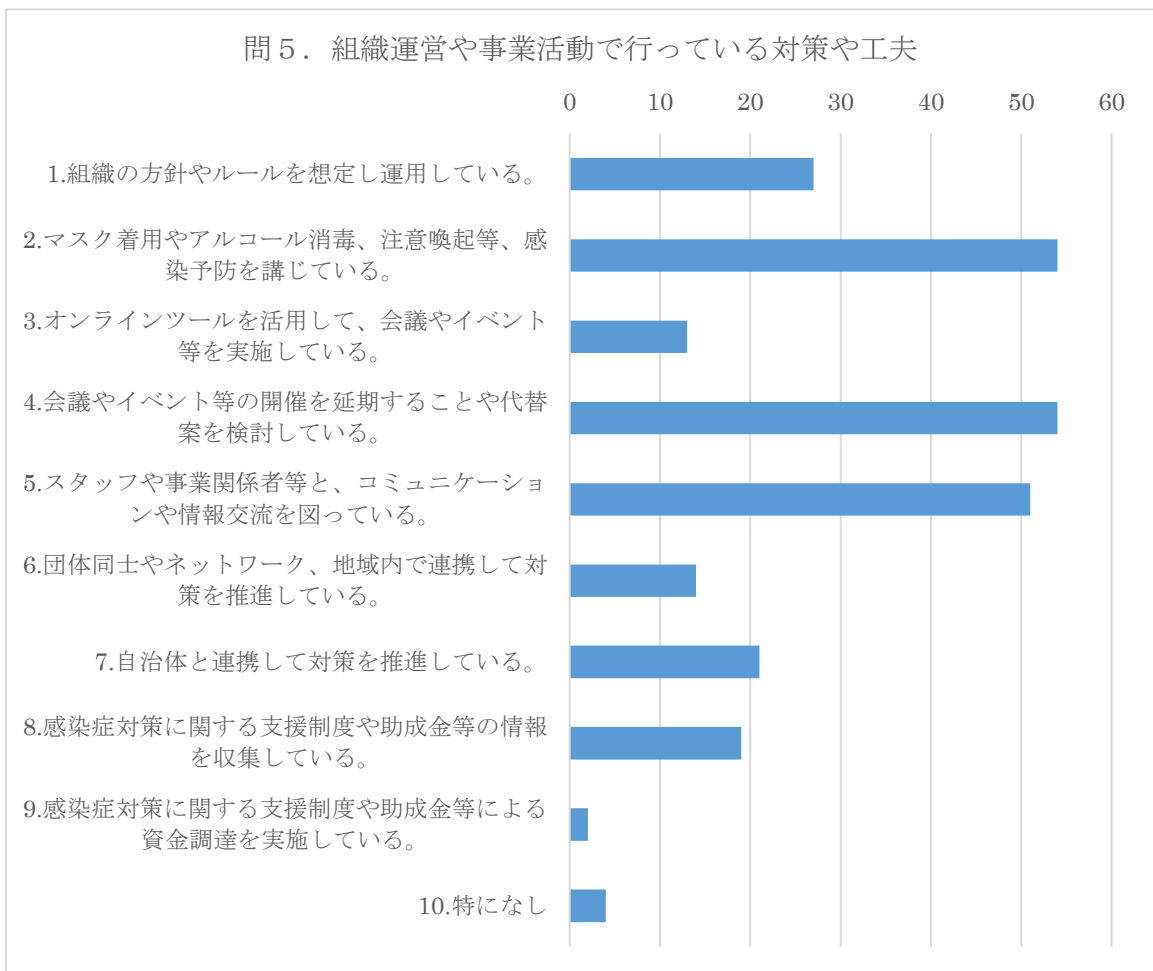
◆問4. 貴団体の周りで発生している社会問題や地域課題を教えてください。(複数回答可)

1.感染予防のためのマスクや消毒液等を入手することが難しい。	61	81.3%
2.感染症対策に関する自治体からの情報や方針がわかりにくい。	27	36.0%
3.子どもの学習や遊びの機会、居場所等が心配される。	34	45.3%
4.地域の行事やサロン等の自粛により、高齢者が引きこもりがちになっている。	28	37.3%
5.子どもの保護者、福祉関係者等、支援者の感染リスクや負担が高まっている。	42	56.0%
6.音楽・スポーツ・文化活動等の自粛や活動制限が懸念される。	54	72.0%
7.観光や経済への影響から、NPOの事業収益が減少している。	33	44.0%
8.障がい者や外国人等の支援が必要な方への情報伝達が足りない。	13	17.3%
9.企業への支援が先行され、NPO法人や市民活動団体等に対する格差を感じる。	21	28.0%
10.特になし	1	1.3%



◆問5. 組織運営や事業活動でどのような対策や工夫を行っていますか？（複数回答可）

1.組織の方針やルールを想定し運用している。	27	36.0%
2.マスク着用やアルコール消毒、注意喚起等、感染予防を講じている。	54	72.0%
3.オンラインツールを活用して、会議やイベント等を実施している。	13	17.3%
4.会議やイベント等の開催を延期することや代替案を検討している。	54	72.0%
5.スタッフや事業関係者等と、コミュニケーションや情報交流を図っている。	51	68.0%
6.団体同士やネットワーク、地域内で連携して対策を推進している。	14	18.7%
7.自治体と連携して対策を推進している。	21	28.0%
8.感染症対策に関する支援制度や助成金等の情報を収集している。	19	25.3%
9.感染症対策に関する支援制度や助成金等による資金調達を実施している。	2	2.7%
10.特になし	4	5.3%



◆問6. その他、今後地域で必要なこと、行政や他団体と連携したいこと、必要なサポート、地域社会へのメッセージ等あれば、ご意見をお書きください。

<p>・指定管理施設使用料の大幅減少による行政からの補填</p>
<p>・今回の件は国難と言ってもいい大きな問題で、参加する子ども・指導者の生命の安全はもとより、感染の拡大によって生じる参加者の家族（高齢者のいる家庭）の安全まで、NPO側で心配して対策を取れば取るほど、活動の自粛を余儀なくされることにもなります。</p> <p>・まず、情報の多い行政やNPOと密接に関係を有する中間支援組織（ふるさと島根定住財団等）からの具体的な指針や感染状況を素早く告知して頂きたいと思います。</p> <p>・県の施設や一部の市町村の施設が利用停止になっており、これではNPOの事業が立ち行かなくなる。施設の消毒などを徹底して安全に事業を行える体制をとって頂きたいと思います。</p>
<p>・いろいろな情報が飛び交う中、行政サイドからの信頼のおける正確な情報を迅速に届けていただきたい。特に、法人だけでは判断しにくいことについては、行政サイドから明確な基準を示していただけるとありがたいです。</p>
<p>・消毒、殺菌しすぎると自然界が破壊されることを心配する。</p>
<p>・一生懸命準備してきたイベント等がすべてキャンセルで徒労感が大きいですし、この先NPO活動を継続できるかとても不安です。とにかく運営に係る最低限の費用を補助（融資ではなく給付）してほしい。NPO法人の解散・自己破産手続き等についても一応知っておきたいです。</p>
<p>・発生しないとどれくらいの影響力があるのかが未知数過ぎて怖いです。</p>
<p>・市の指定管理施設であるため、市の方針が大前提となるが、市当局は施設に判断を委ねる状態で非常に難しい。施設判断で閉める、業務縮小した場合の補償は期待できず、雇用等にも絡むため判断が難しい。</p>
<p>・近隣エリアでの情報共有等は必須かと思います</p>
<p>・施設でマスクを作っているがゴムが入手困難で製作が難しくなっている</p>
<p>・子どもの居場所をしています。不特定多数の子どもを室内で受け入れる事業は只今見合わせています。</p> <p>・保健師はコロナ対策で手一杯ではないか、休校が長引けばハイリスクファミリーへの対応など、個別の対策を支援できるかもしれないと思いました。</p>
<p>・現在、とにかくスタッフ不足であり今後、コロナが発生した場合の対策がとれないと思われるため、他団体とうまく連携やサポート受けられるといいと思う。</p>
<p>・市からの指定管理を受けてスポーツ施設を管理しているが、感染予防のための施設を管理していくための消毒液や手指の消毒液が、お店に入ってもなかなか確保できない。</p>
<p>・イベントや外出の自粛などでストレスがどんどん蓄積している中、子どもたちの健康な心身を保つために何か助けになることができないかを他団体や行政とネットワークを作って一緒に考えたい。</p> <p>・行政の支援が行き届かないところへNPOのきめ細かな支援を届けたい。</p>
<p>・NPO法人への銀行等からの貸付が可能なら利用したい</p>
<p>・現在受けている助成金の決算、報告を早めて助成金残金を清算してもらおうと資金繰りが助かる</p>
<p>・NPOにも何らかの助成や補助があるといいと思います。</p>

<p>・正確な情報に基づき冷静な判断と行動が必要。1日も早く収束することを願います。団体等への支援策は終息後速やかにご検討願いたい。</p>
<p>・補助金事業や委託事業を行う NPO にも収入が減少した団体については、一般の会社と同様の補償・補助を受けられることを望みます。感染の終息の見通しが立つまでは事業展開や連携については何も決められないというのが現状です。</p>
<p>・今は、日本全国が一丸となって、そして世界中が一丸となってコロナウィルスとの戦いに挑まなければなりません。互いに知恵を出し合って、助け合って、前に進みたいです。差別的な行為や独善的な行為は戒めあっていきましょう。</p>
<p>・デイサービスを運営しているが、感染者が出た場合の施設の営業停止の措置に対して、休業補償などのサポートがいただけるのかが不安</p>
<p>・現時点で直接影響はありませんが、もしもの時の話はできないので、閉所すべき時点で運営や費用等を町・県へ相談するようなので、事前に計画が立てられないです。</p>
<p>・法人や支援者共々消毒液が手に入らず困っている。今後、ご利用者のサポートが適切にできるか心配である。</p>
<p>・布マスクを各家庭に2枚配るなど無意味。そのお金をマスク増産や医療福祉事業所等へ配布した方がよい。</p> <p>・事業所が一時閉鎖になった時の利用者の工賃、体調管理等具体策を早急に確立してほしい</p>
<p>・島根県でも感染が確認され、女性生徒の人権が守られることを大人として支援します。</p>
<p>・この春からのイベントが5つ中止となり、見込んだ収入が上がってこない</p>

以上